

新幹線プレス

2022年1月16日 No.558

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

突発多発は年休が入らないからだ 休日・年休跨がり勤務は問題だ！

出向先SMTと団体交渉開催

1月12日、新幹線メンテナンス東海（株）（SMT）と休日・年休の指定のあり方などについて団体交渉を開催しました。

「公休^{またが}跨り時間」とは一体なんなの！？

SMTは休日や年休に夜勤勤務0：00～3：50（早出）もしくは0：00～7：30（遅出）の労働を課して「公休跨り時間」と称しています。しかし、このことは就業規則等のどこにも記載されていません。私たちは、夜勤明けに公休や年休を指定するのは問題だと追求しましたが、SMT会社は問題ないという認識で、対立のままとなりました。

「跨り時間」は特休も休日労働ではないのか!!

公休に「公休跨り時間」があるのに、なぜ特休には「跨り時間」がないのか。就業規則では特休も公休と同じく「休日」とされていることから休日労働に変わりはないのではないかと問題にしました。特休の場合も休日跨り時間として手当を支給するべきではないでしょうか。

年休は24時間労働義務を免じる！公休は暦日付与するものだ！

「夜勤・夜勤明け年休・公休」という勤務指定がされていることについて、年休は夜勤終業の時間から24時間であり、翌日の公休は暦日付与（0時～24時）だから時間が重なってしまっており非常に矛盾していると問題にしました。これについてSMT会社は答えられず、後日あらためて回答するとなりました。24時間以下の年休は年休とはいえません。いったいどう処理するのか注目したいと思います。

適正要員の確保を！！

さらに、欠員状態が連日発生していることについて、適正要員が確保されていないのではないかと問題にしました。SMT会社は、要員は足りていると回答しました。しかし、連日突発休が発生していることを認めました。それでも要員は足りているという矛盾する回答でした。年休は取りたいときに取れるように改善する事を強く訴えました。